

広報 つきがた

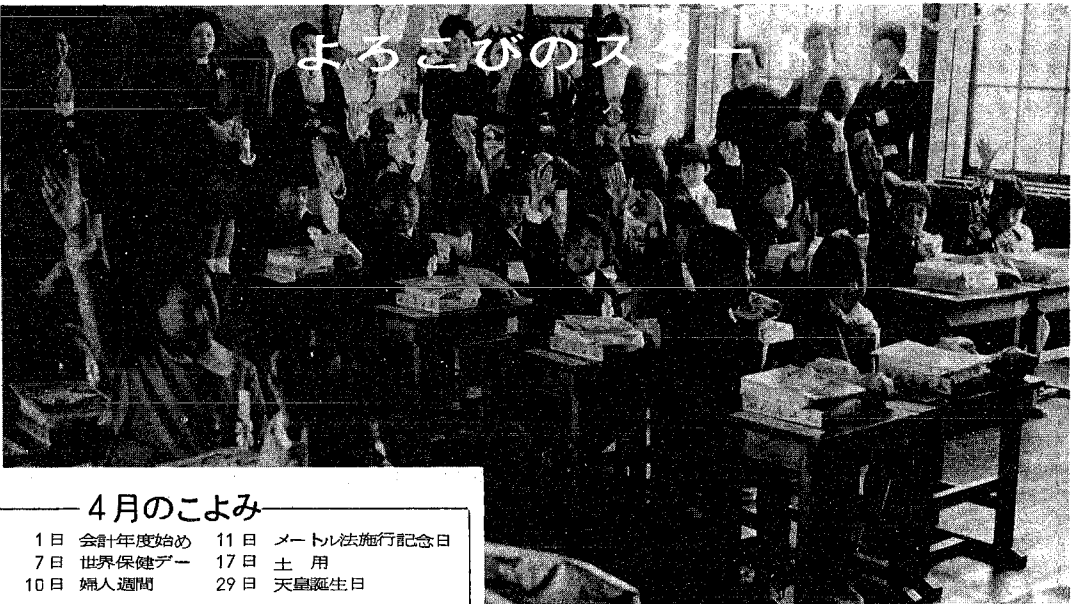
第 5 号

昭和45年 4月

発行

月 瀧 村 役 場

人口動態	3月31日現在	2・3月中の異動
世帯数 782	人口総数 3,964	出生 11 転入 16
(男 1,916 女 2,048)		死亡 7 転出 37



4月のこよみ

1日 会計年度始め	11日 メートル法施行記念日
7日 世界保健デー	17日 土 用
10日 婦人週間	29日 天皇誕生日

村は今日まで社会開発を中心として諸事業を実施して来たのでありますががそれ等は一応完成の形となりました。文教施設についても中学校の給食施設を除いてはや、完成しました。そこで昭和四十五年度はどんな姿勢で臨むかと云うことでございます。

第一、産業の基盤をなすものは道路の整備であると思われ、そこでそれを重点的に押し進める考えで居ります。しかも交通量の最も多い東部用水路の舗装を相当長距離施行する様予算措置を致して居ります。その外月瀧橋の完成に伴う取付道路の施行促進も本年は軌道に乗せたいと考えて居ります。

第二、消防団の再編成の問題であります。昨年白根市外三村の広域消防組合に加入し十一月から発足したのであります。しかも逐次消防態勢も常備化の方向に動きつつありますことは誠に喜ばしいことであると思ひます。村の消防団もこれに呼応して再編成を行ない従来部落におんぶして居りました経費は逐次村へ移行の形をとり、施設の充実を図ると共に消防団員に対しては待遇の改善を図りたい所存でございます。

第三、広報「つきがた」については昨年は隔月に発行して来たものであります。が本年度からは毎月発行して村民との融和と村政に対する理解を図る所存であります。

第四、衛生関係では本年度は特に環境衛生に意をそそぎ蚊と蠅のいない環境作りに取り組み所存であります。

第五、農業関係では米の生産調整後の営農指導をどの様な形に進めるかが大きな課題であるうかと思っております。従って今迄の様な増産第一主義からうまくと良質な米作りを考え食糧の生産基地としての役割を果たしたいと考えて居ります。

第六、商工業関係については昨年度実施致しました商店診断を基礎にして中小商工業者の振興策を樹てる様との指示を与えてはいます。

第七、教育関係については教育施設の充実を図ることは行政長の責任でありますので、現場の先生や教委とよく連絡とり、り年ら必要度の高いものから校舎の整備を進める考えで居ります。

第八、その他職員給料アップに伴う人件費の増額、物価の上昇に伴う備品、需用費の増額も止むを得ないものとして予算措置を致して居ります。然し職員に対しましては出来るだけ儉約を旨とする様に指示を与えそれから生れた財源は村民サービスに向けたものと考へて居ります。しかも昭和四十五年度の職員の業務上の姿勢については誠実、努力、勤侯の三つを指示して日常業務に精進することに致して居ります。

昭和四十五年度の施政方針

村長 本間 國之輔